

安全データシート

SDS No. 16651

1.化学品及び会社情報

化学品の名称:	クリケミカル AL中和剤
供給者の会社名称:	栗田工業株式会社
住所:	東京都中野区中野四丁目10番1号 中野セントラルパークイースト
担当部門:	品質保証部
電話番号:	03-6743-5020
メールアドレス:	kwi_chemisds@kurita-water.com
記載内容問合せ先:	末尾記載の「問合せ先」にご連絡ください。
緊急連絡先:	栗田工業(株)
緊急連絡先電話番号:	06-6228-4865
推奨用途:	空気清浄機のアルカリ洗浄廃液の中和剤

2.危険有害性の要約

化学品のGHS分類	該当する危険有害性なし
-----------	-------------

3.組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別:	化学物質		
化学名又は一般名	化学式		含有量(%)
有機酸	非開示		非開示
化学名又は一般名	化審法番号	CAS No.	安衛法番号
有機酸	非開示	非開示	

4.応急措置

◆情報◆	
吸入した場合	取扱い中に気分が悪くなった場合は、直ちに空気の新鮮な場所に移し、安静・保温につとめ、速やかに医師の手当を受ける。
皮膚に付着した場合	皮膚に付くと炎症を起こすことがある。 触れた部位を、多量の水で洗い流す。 汚染した衣服は直ちに脱ぎ、衣服と皮膚に付着した薬品を、多量の水で洗い流す。 炎症、痛みなどが残れば、医師の手当を受ける。
眼に入った場合	眼に入ると、刺激を与え痛みを起こすことがある。 直ちに、流水で15分以上洗眼し、その後必ず医師の手当を受ける。
飲み込んだ場合	直ぐに医師の治療を受けて下さい。もし飲み込んだ場合は、医師の指示があるまで無理に嘔吐させない。

5.火災時の措置

適切な消火剤	水、粉末消火剤、炭酸ガス、泡消火剤
使ってはならない消火剤	情報なし
特有の消火方法	不燃物で燃焼しない。 火元から遠ざけるか、移動が困難な場合は水で冷却すること。 火元への燃焼源を断ち、消火剤を使用して消火する。 火災が発生した場合は、風上から大量の水及び消火剤で消火する。

6.漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	項目7および8を参考に、適切な保護具を着用すること。
環境に対する注意事項	海・河川等への排出による環境への放出を避けること。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	危険でなければ漏れを止める。少量の場合、ウエス・雑巾等でよく拭き取り適切な廃棄容器に回収する。

漏出時の措置	大量に漏洩した場合は、掃き集めたり、真空掃除機で吸い取るなど、粉塵が飛散しない方法で回収する。
除去方法	小量の漏洩の場合はウエスで拭き取り、水で洗い流す。 大量に漏洩した場合は、掃き集めたり、真空掃除機で吸い取るなど、粉塵が飛散しない方法で回収する。 小量の漏洩の場合はウエスで拭き取り、水で洗い流す。

7. 取扱い及び保管上の注意

【取扱い】	吸い込んだり、眼・皮膚に触れないように、保護マスク・保護眼鏡・長袖の作業衣・ゴム手袋等を着用して作業すること。 製品の付着した布・紙はそのまま捨てないで、十分に水洗後焼却処理する。 取扱後は手洗い、洗顔等を十分に行う。 水溶液は強酸性なので、希硫酸と同様に酸液として扱うこと。 建造物の金属部分に接触すると腐食する可能性がある。 亜硝酸類・さらし粉等の活性塩素化合物と混合・併用しないこと。
技術的対策	情報なし
安全取扱注意事項	情報なし
接触回避	情報なし
【保管】	容器は密栓・密封して屋内に保管すること。 湿気が多いと吸湿して固化の原因になるので、水濡れに注意して屋内に保管すること。 亜硝酸類・さらし粉等の活性塩素化合物と離して保管すること。
安全な保管条件	情報なし
安全な容器包装材料	情報なし

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度	設定されていない
管理濃度	設定されていない
設備対策	設備的な対応ができない場合は、換気の良いところでの使用が安心である。 特になし
保護具	
呼吸用保護具	保護マスク(防じんマスク)
手の保護具	ポリ塩化ビニール製あるいは合成ゴム製の手袋着用
眼及び／又は顔面の保護具	保護眼鏡／又は保護面着用
皮膚及び身体の保護具	長袖の作業衣着用

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	粒状又は粉末
色	白色～無色
臭い	データなし
融点／凝固点	データなし
沸点又は初留点及び沸点範囲	融点205℃で分解し沸点に至らず
可燃性	データなし
爆発下限界及び上限界／可燃限界	上限界：データなし 下限界：8%(65℃)
引火点	なし
自然発火点	データなし
分解温度	データなし
pH	(参考)1(%)1.7～2.7
動粘性率	データなし
粘度	データなし
溶解度	水に易溶(59.2%wt/wt:20℃)
n-オクタノール／水分分配係数(log値)	データなし
蒸気圧	データなし
密度及び／又は相対密度(比重)	データなし
相対ガス密度	データなし
粒子特性	データなし
CODMn量	(参考)0.4%
BOD	(参考)0.4%

10. 安定性及び反応性

反応性	情報なし
化学的安定性	通常の取扱い上では安定で問題ない。 銅、亜鉛、アルミニウム及びこれらの合金を腐食する。
危険有害反応可能性	金属の硝酸塩との混合により爆発する。 酸化剤、還元剤及び塩基と反応する。
避けるべき条件	情報なし
混触危険物質	情報なし

危険有害な分解生成物

情報なし

11.有害性情報

急性毒性	経口(ラット) LD50 3000mg/kg 経口(マウス) LD50 5040mg/kg
皮膚腐食性/刺激性	酸性であり、皮膚に付くと炎症を起こすことがある。 パッチテスト(皮膚観察): 陰性 (経皮, 1% 水溶液 0.2ml, 人) 皮膚一次刺激性試験(皮膚観察): 安全 (経皮, 1% 水溶液, 0.5ml, ウサギ)
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	強い刺激性があり、角膜に薬傷を生ずる。 眼粘膜一次刺激性試験(前眼部観察): 点眼(1%水溶液, 0.1ml, ウサギ)通常の場合刺激なし。
呼吸器感受性又は皮膚感受性	データなし
生殖細胞変異原性	データなし
発がん性	微生物を用いた復帰突然変異性試験及び哺乳動物細胞を用いた染色体異常試験で陰性
生殖毒性	データなし
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	データなし
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	データなし
誤えん有害性	データなし
その他の有害性	陰性 (労働安全衛生法, 基発第107号の2に準ずる、代謝活性化を含む復帰変異試験による判定)

12.環境影響情報

生態毒性	データなし
残留性・分解性	データなし
生体蓄積性	データなし
土壌中の移動性	データなし
オゾン層への有害性	データなし

13.廃棄上の注意

残余廃棄物	直接排水溝には絶対流さないこと。 産業廃棄物処理認定業者に委託して処理する。
汚染容器及び包装	または、アルカリで分解後、少量ずつ活性汚泥処理をすること。 排水を飲料水系、井戸、養魚場、河川、農業用水等に混入させないこと。 関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。産業廃棄物処理認定業者に委託して処理すること。

14.輸送上の注意

国連分類・国連番号	国連分類: 分類の定義上危険有害物に該当しない。
その他	容器が破損しないようにし、水ぬれや乱暴な取扱いを避ける。 落下、転倒、衝突を避ける。

15.適用法令

消防法	該当なし
毒物及び劇物取締法	該当なし
化学兵器禁止法	該当なし
輸出貿易管理令	該当なし
労働安全衛生法	該当なし
船舶安全法	該当なし
航空法	該当なし
港則法	該当なし
化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)	該当なし

16.その他の情報

記載内容は、本シート作成時に入手可能な資料、情報、データに基づいておりますが、含有量、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証を成すものではありません。
この情報は、新しい知見に基づき改訂されることがあります。
また、注意事項は通常の取り扱いを対象としたものなので、特殊な取り扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください。
本シートは、日本国内法規を基準に作成したものです。

以上

*記載内容問合せ先
本社 03-6743-5000
大阪支社 06-7638-1226
東北支店 022-225-6331
名古屋支店 052-203-2851
広島支店 082-221-4471
福岡営業所 092-472-0911